

研 究 者	所属学系 生命・環境学系 氏 名 黒 沢 高 秀
研 究 課 題	水生植物種子の形態と埋土種子化
成 果 の 概 要	<p>生物多様性保全の目的で自然再生事業に携わる多くの人が比較的容易に水生植物の毎土種子の同定を正確に行えるよう、水生植物の種子及び人為的に作成した毎土種子の形態学的研究を網羅的に行うための準備を行っている。</p> <p>奨励的研究助成をうけ、さく葉標本用の試料の採集や水生植物の産地の特定のため、国内の標本室で標本調査を行った。その過程でミチノクホタルイの分類や分布、水生植物の水質浄化機能、猪苗代湖の水生植物相の変化など、多くの新知見を得ることができ、以下の論文として発表した。</p> <p>早坂英介・細島尚子・黒沢高秀. 2008年10月. ミチノクホタルイ（カヤツリグサ科）の南限産地およびミヤマホタルイからの識別形質. 植物研究雑誌 83：310－313.</p> <p>長林久夫・馬場浩太・黒沢高秀・佐川演司. 2009年2月. 富栄養化した都市域の池沼における水生植物の水質浄化機能に関する検討. 水工学論文集 53：1375－1380.</p> <p>黒沢高秀. 2008年6月. 水辺の侵略的外来植物問題と駆除の試み. 日本生態学会東北地区会会報(68)：47－51.</p> <p>黒沢高秀・野沢沙樹・高瀬智恵子・笹原（小林）星. 2008年6月. 猪苗代湖の植物の過去と現在～文献調査，標本調査，現地調査から見えてきた湖の変化～. 日本大学工学部・福島県環境センター共同研究発表会「清らかな湖，美しい猪苗代湖の秘密を探る講座」運営協議会(編)，清らかな湖，美しい猪苗代湖の秘密を探る水環境研究誌，pp. 103－122. 日本大学工学部・福島県環境センター共同研究発表会「清らかな湖，美しい猪苗代湖の秘密を探る講座」運営協議会，郡山</p>